

私のつないだ炬火がまた狭山に帰ってくる 懐かしさを胸に迎えた「まごころ国体」



狭山の元気 発見

今年開催されている「第59回彩の国まごころ国体」は、埼玉県で実に37年ぶりに行われた国体です。狭山市では夏季大会でボウリングとゴルフが行われ、これから始まる秋季大会ではソフトテニスが行われます。そして、秋季大会に先駆けて行われる炬火リレーは、オリンピックの聖火リレーにあたる国体ならではのものです。今回は所沢市から受け継いだ炬火と大会旗を72名の市民ランナーが、鶴ヶ島市へ引き継ぎます。37年前の第22回埼玉国体、狭山市で行われたのは、この炬火リレーでした。そしてそのとき、市内を渡った炬火を次の日高町(当時)へ引き継いだランナーが、柏原にお住まいの青柳より子さんです。

実際のコースを走って備えたそうです。区間ごとに走破時間が決められていて、早過ぎても遅過ぎてもダメなんです。ペース配分には気を遣いました」と、当時を振り返ります。そんな青柳さん、当日は緊張のあまり、走っているときの記憶がまったくないそうです。前の走者を待つ間に「ピークを迎えた緊張感...走り終えた後のことも思い出せないくらい、そのプレッシャーは大きいものでした。炬火の重さも覚えてなくて、とにかく、走り通さなくては」と思って、走りを楽しむ余裕はありませんでした。第22回大会は埼玉県で初めての国体、おそろいの真っ白なユニフォームが走者全員に渡され、国体のスケールの大きさを実感しました。そのとき履いたシューズは、今でも大切にしています。

「ですから、一筆ごとに真心を込めて書きました」と、最終日の会場には、当時のシューズを履いて筆を執る青柳さんの姿がありました。2回の埼玉国体に携わり、その成功を祈る想いは、だれよりもひとしおです。

最近では走る機会もほとんどないそうですが、智光山公園を歩いていて気分がいいと、ふと走り出すことも。大好きな「走る」という得た貴重な体験、今回の炬火リレー走者の皆さんの胸にも、一生の思い出として刻まれることを心から望んでいます。



このシューズを履いて1.2kmを完走しました



青柳より子さん
第22回埼玉国体炬火リレー走者

37年前と同じように歌えた国体歌「若い力」
記憶の片隅に眠っていたものが目覚めたような
うれしさが込み上げてきました

オピニオン 声

皆さんの「声」をお寄せください。



それぞれの地域で活発に行われる市民文化祭
たくさんの人に知って・見てもらいたい

毎年秋になると、公民館や集会所、図書館、博物館などでは市民文化祭が行われます。さまざまなサークルの作品展や発表はどれも見ごたえがあつて素晴らしいのですが、残念なことに市民の方にはあまり知られていません。私は富士見集会所で空手と健康体操の指導をしています。公民館や集会所を利用してサークルは、この文化祭が日ごろの活動の成果を発表する場であり、大きな目標の一つです。また、ほかのサークルの活動を知り、普段にはない交流が持てる機会にもなります。

私のサークルは、文化祭で子ども達が空手の組み手を披露したことがあります。空手は試合が発表の場ですが、その場合、限られた人しか見てもられません。集会所や公民館は、だれでも足を踏み入れることができる施設です。どんなサークルがどんな活動をしているのかを知らない方もいるでしょう。そんな方は、ぜひ文化祭へ足を運んでみてくだ

さい。市民皆さんが活発に活動する拠点がすぐ近くにあることを知ってもらえらると思えます。そして、身近だからこそ肩肘を張らず参加できる何かが見つかるかもしれません。

サークルが活動するうえで学んだことを自分たちでできる形で地域に還元し、地域の輪を広げていく役割があると思います。その役割を果たす一つの手段として、毎年行われる文化祭が絶えることなく今後も続くことを願っています。

井田 一如さん(富士見在住)

市の考え方

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。市民文化祭はだれでも参加でき、公民館などを利用して皆さんが、日ごろ学んだ成果を発表する年に1回の大イベントです。また、井田さんが実践されているように、学習した成果・技能を多くの方に還元する相互学習の大切な場でもあります。

今年には市内15会場で開催され、11月3日(祝)には4台のバスが全公民館と富士見集会所を循環します。また、市の公式ホームページで各会場の日程が見られますので、多くの方にご来場いただきたいと思えます。

担当 生涯学習課

好きな言葉 とときどき

発音が日本語の響きに聞こえないから



Rachelle Maree Withell
ラシェルマリー・ウィッスル
(柏原中学校勤務)

ニュージーランド出身
狭山市のALTとして
勤務して3年
趣味は読書とハイキング

A ssistant L Language T Teacher

October is a great time to explore the natural beauty of Japan on foot. The leaves are beginning to change color and the weather is nice. Hiking (called tramping in New Zealand) is great exercise, a lot of fun, and a great way to unwind from a busy week. There are some very nice trails in Chichibu that are an easy day trip from Sayama. Both Mt Takao, and Mt Mitsumine have a cable car to make the journey uphill very easy. For the more adventurous, Kamikouchi is a great hike and is very beautiful.

Be sure to take enough food, drink and money, your camera and a friend! Japan has some stunning scenery-it is only a train ride away.

10月は歩いて自然美を探すには良い時期です。葉が色づき始め、天気も素晴らしいからです。ハイキング(ニュージーランドではトランピングと呼ばれています)はとても良い運動になり、とても楽しく、忙しい日々から解放してくれる最高の方法です。秩父は狭山から簡単に日帰り旅行ができる場所で、とても素晴らしい小道があります。高尾山や三峰山にはケーブルカーがあり、簡単に山頂に登れます。もっと冒険したい気持ちがある人には、上高地がお勧めです。とても美しいですよ。必ず十分な食料、飲み物、お金を持って行ってください。それとカメラと友達も忘れずに！電車に乗って出かけるだけで、日本では驚くほど美しい風景に出会うことができます。

(英文の要約)